

2019年度 南富良野からまつ園事業実績報告書

第1 総括

2019年度の障がい者支援施設南富良野からまつ園は、年間事業テーマの「一視同仁」に基づいた事業計画を実践し、ご利用者が快適な環境のもとで、個人の尊厳が最大限に尊重され、自己決定に基づくその人らしい生活の実現をめざした支援を行い、ご家族や地域、関係機関とも連携協力しながら適正なサービスの提供と質の向上に努めました。

1 高齢化に伴う介護支援の向上

ご利用者の身体的な重度化に伴い、車いす、食事・排泄・入浴介助などにおける個別支援の充実に努め、定期的にケース会議などを行い職員間での支援内容の共有にも努めました。

また、重高齢化に伴う事故防止のため、介護技術の向上を目指し、定期的に有資格者を交えた講習会や適宜、助言を行うなど職員全体で多様な状態に対応できるスキル・質の向上を図りました。

2 健康（体力）の増進

ご利用者の加齢に伴う日常生活動作の低下と介助を有する方が増えているなか、身体機能の維持を図るため、一人ひとりのニーズに合わせた活動プログラムを組み、出来るだけ体を動かす機会を増やすなどの工夫と支援提供を行いました。

3 ご利用者の意思決定支援

ご利用者が日常生活に関する場面や日中活動、余暇活動などのサービス提供時に、自らの意思が反映されることができるよう、可能な限り自己選択、意思決定できるよう支援と体験する機会の提供に努めました。

4 風通しの良い職場づくり

日頃から、職員間の連携強化を図ることが、適切なご利用者支援の提供に繋げる目的として、職員間の普段の会話や業務での報告・連絡・相談を密に行い、職場全体でご利用者のケースやミーティング内容などに関しての情報共有と伝達の徹底に努めました。また、事業所内に偏らず、職員が多様なコミュニケーションが取れる機会を増やすため、地域行事やクラブ活動、法人交流事業などへの参加を積極的に行いました。

5 業務に関する意識改革

法人の人事考課規定を活用し、職員の勤労意欲を促進させ、個別面談を活用して指導、育成の充実に努めました。更に「働き方改革」の必要性としても、業務内容およびマニュアルの見直しを行い、参加意識を持たせる工夫と業務軽減と効率化を進め、職員間が協力して時間外労働の削減と年次有給休暇の取得向上に努めました。

6 支援のあり方と生活環境の改善

個別支援計画に沿って、日常生活支援及び日中活動支援を行いました。新規利用者の受け入れに伴い、ユニット、活動班を再編し、個々の状態に応じた生活環境の充実に向上に取り組みました。

7 防犯・防災対策の向上

緊急時に備えた体制として、防災対策では、ご利用者の生命の安全を最優先に行動でき

るよう、避難誘導訓練等を実施しました。また、防犯対策については、ご利用者・施設の安心・安全に向けて、地域の警察の協力のもと、施設周辺の定期巡回を実施と施設設備の確認、窓や外灯などの日常定期点検を行うなど、職員一人一人の防犯・防災意識の向上と共通理解を図りました。

第2 運営組織（令和2年3月31日現在）

1 職員配置状況

区分	園長	総務部	支援部	短時間	計
男性	1	4	25	2	32
女性		1	12	16	29
計	1	5	37	18	61

第3 ご利用者の状況（令和2年3月31日現在）

1 各ユニットの男女別状況

区分	もりのまち	ほしのまち	はなのまち	にじのまち	計
男性	25	33			58
女性			19	19	38
計	25	33	19	19	96

2 年齢別

区分	～20 未満	20～ 29	30～ 39	40～ 49	50～ 59	60～ 69	70 以上	最高 年齢	最小 年齢	平均
男性	1	2	15	18	10	4	8	87歳	19歳	48.9歳
女性	0	1	11	5	8	5	8	84歳	24歳	53.2歳
計	1	3	26	23	18	9	16			50.6歳

3 障がい別

区分	てんかん	自閉傾向	統合 失調症	身体 障がい	ダウン症	視覚 障がい	聴覚 障がい	内部疾患	言語 障がい	強度行動 障がい
男性	12	24	2	2	4	1	2	0	1	7
女性	15	5	3	2	3	0	2	1	1	3
計	27	29	5	4	7	1	4	1	2	10

4 障害支援区分

支援区分	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6	計	平均区分
男性	0	0	0	4	15	39	58	5.60
女性	0	0	0	2	9	27	38	5.66
計	0	0	0	6	24	66	96	5.63

第4 事業と運営方針

1 事業の内容

(1) 生活介護事業 定員：100名（男性60名、女性40名）

ご利用者が快適な環境のもとで日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴排せつ、食事の介助や日中活動及び創作的活動の提供、その他、洗濯、掃除、買い物、外出等の暮らしの支援、生活等に関する相談・助言等の便宜を適切かつ効果的に行いました。また、自立の促進、身体機能の維持向上を目的として様々なサービスを提供し、障がいのある方の社会参加と福祉の増進に努めました。

(2) 施設入所支援事業 定員：100名（男性60名、女性40名）

生活介護のご利用者に対し、日中活動とあわせて夜間等における入浴、排せつ、食事、就寝、起床の介助、生活等に関する相談・助言等の便宜を適切かつ効果的に行いました。

(3) その他の事業

短期入所事業	在宅において介護を行う方の事情等で、短期間の宿泊や施設利用が必要な場合、心身・その他の状況に応じ、障がい者に対して支援を行いました。(男性3名)
日中一時支援事業	日帰りで施設利用の必要がある障がい者に対して日中支援を行いました。(男性2名)
相談支援事業 (計画相談・地域移行・地域定着)	障がいのある方が、適切な障害福祉サービスを円滑に受け取ることができるよう窓口及び家庭訪問による相談等に応じ、必要な支援を行いました。また、指定特定相談支援事業所では、依頼を受けたご利用者のサービス等利用計画を作成しました。
生活介護事業	地域で暮らす障がい者に対して、日中活動サービスを提供し、社会資源として地域の貢献に努めました。

2 運営方針の内容

(1) 総務部・総務課

ご利用者の生活環境の整備と施設の環境保全を図るとともに、適正な予算執行及び会計処理等を実施し、安定した施設経営を進めました。

施設経営基盤の安定・強化	経営の安定を図るため、法人事業所内で連携し、ご利用者のニーズに沿った受け入れ体制を整え、定員の充足に努めました。また、定期的な在庫管理や計画的な予算執行を実施し、施設の収支状況を施設全体で共有化し、経営の強化を図りました。
中長期計画の遂行	社会への高水準な福祉サービスの提供および将来的なビジョンのもとで、施設の永続的な運営を目指し、現在進行中の中長期計画の遂行、見直しを行いました。
人事管理及び人材の確保	改定した賃金規程やキャリアパス、育児休暇制度等を職員に浸透させ、定着率の改善を図りました。また、若手OB・OG職員の学校等の訪問活動を強化し、新規採用職員の確保に努めました。
地域貢献	地域の各種団体、行政・福祉機関との協働、連携を図り、職員の地域活動参加の機会を設け、積極的に参加のサポートや活動しやすい環境を整備しました。また、ボランティアの受け入れ、学校教育への協力、地域行事へ積極的に参加し、地域との共生を図りました。
安心・安全で安定した食事提供	施委託業者と連携し、衛生管理の向上と感染症対策の徹底を図り、食材の品質や価格、食事サービスの適正管理を行い、安心・安全な食事提供に努めました。また、将来的な体制を見据え、配膳方法やクックチル調理の導入も検討・協議しました。

適切な栄養管理と食事環境の向上	嗜好に反映した献立作りや季節感のある行事食、さらには環境・空間を工夫することで、あたたかい家庭的な食事を提供しました。また、身体機能の低下による個別対応食について、見た目や盛り付けへの配慮、ソフト食の導入等を検討し、安全且つ美味しく喜ばれる食事提供に努めました。
職員の健康促進	定期健康診断または生活習慣病検診の他、心理的負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)を実施し職員の心身の健康の保持、増進のための実態把握に努めました。また、心身の健康づくり及び活気ある職場づくりを目指し、福利厚生等による職員への健康支援体制を整備しました。
施設等の保全管理	施設・備品の破損等には迅速に対応するとともに、ご利用者の生活環境の保全管理に努めました。また、定期的に建造物等の点検を行い、適切な危機管理や住環境整備のための計画的な修繕・更新を行いました。
防災・防犯対策の整備	火災、自然災害等の事業継続計画（BCP）を再点検し、被害を最小限に抑え、非常時でも平常時に近いサービスが提供できるよう非常食や備品等の整備を進めました。また、ご利用者が安心して生活できるよう不審者等の防犯対策の充実・強化を図りました。

(2) 生活支援部・生活支援課

個々のニーズに応じた適切な福祉サービスの提供ができるよう、環境整備を行いながら生活の質の向上につながる生活支援を推進しました。

個別支援計画の充実と評価の明確化	一人ひとりの障がいやニーズに応じた個別支援計画を作成しました。また、サービスが適切に提供されているか、定期的にモニタリングを行い、必要に応じて計画の見直しを行いました。ご家族にはサービスの提供状況や支援の効果等を定期的に報告し、率直なご意見を求めるなど、評価の明確化に努めました。
介護技術の向上	ライフステージに応じた生きがいを感じられる生活環境を提供するとともにきめ細やかな健康管理を行い、疾病の早期発見に努めました。また、身体が不自由な方が、安心・安全に生活できるよう介護技術の向上に努めました。
日中活動支援の充実	前年度の検証結果を踏まえ、すべてのご利用者に一年を通して継続的かつ楽しく充実した日中活動を提供できるよう各ユニットが活動内容を設定し、活動支援課が連絡調整や人員配置等を行いました。
自治会活動の活性化	ご利用者本位のサービス提供の実現に向けてあおぞらの会および利用者生活委員会のサポートを行いました。多くのご利用者や職員が意見交換できるように毎月懇談会やご利用者自身がサービスを評価できる機会を設け、施設全体のQOL向上につなげました。
人材育成・階層別研修体制の整備	適正で質の高い支援を実践するため、育成方針をキャリアパスと5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）を基本に職員教育を推進しました。また、組織強化を図るため、リーダー職や幹部職員の養成研修等の整備に努めました。

衣食住環境の改善	ご利用者の衣服や居室のインテリア、レイアウトがより快適で安全なものになるように改善を図りました。また、栄養士による嗜好調査を参考においしさ、楽しさ、食べやすさ等を食事の形態やカロリーも含めて見直しを行いました。
保健・医療	職員の感染予防に関する知識・技能の向上を図るとともにご利用者の免疫力を高めるため、ご利用者の体力増進と口腔ケアの充実に努めました。また、薬剤業務の専門性を高めることを目的に、「さいほう薬局」と業務を提携し、薬剤師による在宅医療を導入しました。
余暇・スポーツ活動の充実	ご利用者の高齢化と障がい特性を踏まえ、認知症予防や健康増進につながる余暇（カラオケ・ウォーキング等）の機会を設け、残存能力の維持・増進を図りました。また、カラオケ機器を活用したダンスや高齢者向けの運動等を導入しました。
自立訓練の推進	地域生活に必要なスキルアップを図るため、自立生活に意欲のあるご利用者に自立訓練ホーム「ふらっぷ」を活用して生活体験の機会を設けました。また、ユニット内でも可能な範囲で自立支援（掃除や洗濯、食器洗いの経験等）を行うことで、自分自身の生活や環境をよりコントロールできるように働きかけました。
作業の効率化	人員不足を補うため、文書の簡略化、エクセルの活用、資料の配布方法の見直しなどを行い、作業の効率化を図りました。
広報誌の見直し	各事業所の編集係と協議し、事業活動をより広く深く情報発信できるようにレイアウトの見直しや文章表現などの統一化を図りました。
実習生・ボランティアの受け入れ	本年初めて外国人実習生を受け入れたことで、将来的な雇用に向けてのノウハウを培いました。町社協のボランティアセンターと連携し、イベントのサポートなどしていただける新たなボランティアを獲得しました。

① 生活介護事業（生活支援）

ご利用者の意向や特性を踏まえ、個々のニーズに応じた適切な生活支援の提供ができるよう、環境の整備、情報の提供を行いながら生きがいのある生活の実現に向けた福祉サービスの提供に努めました。

◇生活支援課◇

《自立した日常生活又は社会生活を営むことができるための支援》

生活支援	食事、歯磨き、服薬、衛生、排泄、整容、入浴、居室内清掃、衣類整理ユニット及び居室内生活における情緒の安定等を図りました。
居住環境の整備	快適な環境（安全・清潔）の保持に努めました。また、必要に応じてインテリアの調達やレイアウトの見直しに協力しました。
定期巡回	定期的に巡回を行い、体調確認、行事連絡、話題提供を行いました。
行動障がい者への支援	施設内環境との関係性を重視した情緒安定につながる個別支援を提供しました。また、行動障がいの援助技術の向上に努めました。

高齢者への支援	身体機能が低下している高齢者に対する適切な支援・介護・見守りを行いました。また、介護技術研修会を企画し、技術の向上に努めました。
健康状況の把握	体調確認における検温測定、必要に応じた血圧測定を実施し、ご利用者の健康管理に努めました。

◇活動支援課：第1係～日中活動◇

《創作的活動》

日中活動	障がい特性やニーズに配慮し、季節に応じた活動の提供と日中活動を通して生きがいや楽しみがあり日々充実した生活が送れる様に取り組みました。また、毎月からまつホールの舞台をより季節感が増すように装飾しました。
創作活動	ふれあいフェスタ、からまつ・あーと展に向けた創作品の製作を行い、展示しました。また、からまつホールの年間の装飾展をカレンダーにし、活動内容としてご利用者とご家族等へ送付しました。
演芸活動	ぴあステージ、クリスマス会等の発表会に向け演芸練習を重ね、披露することで、意欲向上を図りました。
生きがい支援（個別活動）	個別のニーズに合わせて、パズル、編み物、ビーズ通し、歩行機能訓練等を行いました。また、柔らかいボールを使い投げる、転がす、蹴る等簡単にできる軽運動も取り入れました。

《生産活動》

生産活動A（屋外）	屋外活動を基本とし、馬鈴薯の播種、収穫や花苗の準備、定植及び管理等を行い工賃の支払いを通して生産意識の向上を図りました。
生産活動B（屋内）	災害備蓄用パンの缶拭きや食堂清掃、施設内清掃、ゴミ回収（リサイクル）等を通して、作業意識の向上を図りました。

◇活動支援課：第2係～日中活動◇

《療育活動》

スヌーズレン	重度ご利用者のみならず、高齢者や参加希望のご利用者に対し、心地良い感覚刺激を楽しみ、リラックスや喜びを得る活動を行いました。
創作活動	指先を使った機能訓練を行う目的で、ビーズや折り紙、色鉛筆を使用したアート作品を制作しました。

《元気班》

生きがい活動	身体機能を維持するために、風船バレーやジョイサウンドを使用しているカラオケ、体操等個別の活動を行い、認知症予防にも努めました。
--------	---

健康維持・増進活動	ボール運動や散歩、体操を通して、体力の低下に繋がらないように健康維持と増進に努めました。
-----------	--

◇健康支援課◇

定期通院	日頃から心身の状態を観察すると共に医療や保健機関と連携し、必要に応じて受診等することで、疾病の予防・早期発見・早期治療に努めました。
各種検診	安心・安全に検診を受けられるように協力機関と連携し、検診対象者の受検率をほぼ100%に維持しました。また、有所見者については遅滞なく二次検査を実施し、必要に応じて治療等を行いました。
感染症対策	感染予防マニュアルを基に職員教育を推進し、年間を通して高い意識で業務に臨みました。また、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、2月より感染予防対策を徹底することで、集団感染の発生を防ぐことができました。
その他	看護師が複数体制で必要に応じた計測、処置、服薬管理等を実施しました。

◇地域・企画調整科◇

ご利用者の生きがいや楽しみ、社会的活動を含めた地域移行に対する支援をしました。また、季節や個々のニーズに応じた余暇活動や潤いのある生活を目的に施設・町内イベントの計画・立案をしました。

施設外訓練	一般事業所での施設外訓練者に対する定期的な各事業所への訪問と、個別面談を行い、ご利用者の社会生活スキルの向上とニーズの把握に努めました。
施設内訓練	日常の面談等を通して自立意識が芽生えてきている方や希望するご利用者を中心に、施設内で取り組める訓練を行うことで、自立意識の向上に努めました。
施設イベント	施設間交流会、花見食事会、スポ・レク交流会、ふれあいフェスタ、クリスマス会、その他各種イベント等、円滑に行事が遂行できるように、あおぞらの会、各ユニットと連携を図りながら企画・立案しました。
町内行事	湖水まつり、神社祭等町内で開催される行事に円滑に参加できるようにあおぞらの会、各ユニットと連携を図りながら企画・立案を行い、地域貢献に努めました。
余暇活動	各ユニット単位でドライブや外出、カラオケ等を計画し、実施に向けて情報提供等のサポートを行いました。
地域生活移行支援	自立意識が芽生えている方や希望するご利用者を中心に、自立訓練ホーム「ふらっぷ」を利用して生活体験を行いました。また、体験を通して町外外出や調理実習、避難訓練等、社会生活上必要なスキル習得に向けて取り組みました。

その他	障がい者週間記念事業を法人内部で企画・立案し、映画鑑賞会や虐待防止研修会を実施しました。また、町内各事業所へのポスターの掲示、作品展示等、啓蒙活動に努めました。
-----	--

◇ご利用者自治会の支援（あおぞらの会）◇

役員会及び利用者生活委員会を開催するとともに、支援員会議にご利用者が参加しました。また、職員とご利用者の意見交換を日常的に行い、行事等の会議にご利用者の代表が参加し、ご利用者主体の各種事業や計画立案等につながる支援を進めました。

支援員会議参加	支援員会議に代表者が参加し施設行事や支援内容について職員と意見交換
事業・行事の立案	実施に関するサポート（総会、花見会、クリーン作戦、お楽しみ会等）
情報提供	掲示物制作、情報収集と提供
自動販売機	清涼飲料水等の販売運営サポート
各種委員会	役員会、利用者生活委員会の開催
誕生会、長寿祝い	誕生会プレゼント及び長寿祝い品の購入サポート
施設内清掃活動	清掃チェックの補助
施設外清掃活動	地域でのクリーン作戦同行
地域奉仕活動	除雪ボランティア同行、リングプル収集サポート

◇家族会の事務局支援◇

各種事業を通して、ご家族（身元引受人）と連携し、相互理解を深めました。また、総会や研修会、情報交換会等の各種事業が円滑に推進するように事務協力を行いました。

② 施設入所支援事業

夜間、早朝における住まいの環境において、健康で主体性のある生活を送ることができるよう適切な支援を行いました。

日常生活での支援	主に起床、就寝、睡眠、更衣、食事、服薬、歯磨き、衛生、排泄等、夜間、早朝における生活面全般のサポートを行いました。
ホームルーム	定時にご利用者が参集する時間を設定し、ご利用者から様々なお話を聞き取ることで体調確認、行事連絡、話題提供を行いました。
就寝前支援	寝具の確認や定時のトイレ誘導、おむつ交換を行い、安心・安全で快適な睡眠ができる環境の提供に努めました。
職員による定期巡回	就寝後における定期的な巡回を行い、居室内温度調整、体調確認等を行いました。
行動障害者に対する支援	施設内環境との関係性や障がい特性を十分に理解し、情緒安定につながる個別支援の提供を行いました。
高齢者への支援	身体機能が低下している高齢者に対する適切な支援・介護・見守りを行うことで、「ゆとり」、「やすらぎ」のある生活環境を提供しました。
健康状況の把握	体調確認における定期的な検温測定と必要に応じた血圧測定を実施し、ご利用者の健康管理に努めました。

3 職員の研修、研究体制

○関係機関の主催する各研修会等の参加は次のとおりです。

研修事業名	参加職員	参加延人数
北海道社会福祉協議会	園長・支援員・事務員	8人
日本・北海道知的障害福祉協会	園長・支援員	7人
北・北海道知的福祉協会	園長・支援員・事務員	7人
その他	支援員・看護師・事務員	16人

○施設主催による各研修会は次のとおり実施しました。

研修名	開催回数	参加職員
新任者研修	合同研修5回 (5月、7月、9月、11月、1月)	平成30～31年度採用職員
内部研修会	合同研修6回 (7月、10月、11月、12月2回、2月) からまつ園内部研修4回() (5月、9月、1月、2月)	237名 (全職員対象・動画研修含む)
階層別研修	7回 (5月、8月2回、10月2回、12月、1月)	51名(全職員対象・階層別)

4 年間行事実績

令和元年度の年間行事実績は、別紙1のとおりです。

2019年度 主要事業等報告書

月	日	期 間	内 容
4月	1日		辞令交付式
	6日		緑陽台歯科検診
	7日		北海道知事、道議会議員選挙日
	12日		大正琴演奏会
	14日		勝又静子様30万円寄附
	15日		石田美樹生活支援員（臨時）入職
	16日		あおぞらの会総会・お楽しみ会
	24日		4月誕生会
30～5月4日		5日間	春季一時帰省日（道北・空知方面）
5月 1～5日			春季一時帰省日（道央・道東方面）
	9～12日	4日間	就職希望者（男性1名）実習受入
	15～22日	8日間	ご利用者竹中美香さん富良野協会病院入院
	17～18日	2日間	就職希望者（男性1名）実習受入
	11日		中小企業家同友会富良野地区会施設見学
	18日		合同家族会研修会・役員会
	19日		道北家族会連合会総会
	21日		法人監事決算監査
	23日		野外バーベキュー実施
	26日		全道家族会連合会総会
	28日		栗野彰朗さん入所
	29日		5月誕生会
	30日		合同防災訓練実施
	31日		前期健康診断実施
6月	1日		石田美樹生活支援員正規職員雇用
	6日		南富良野小学校運動会観覧・参加
2日～7月18日		47日間	ご利用者武藤憲男さん富良野協会病院入院
	4日		桑島正市さん入所
4・11・18・20日			町外外出（富良野方面）
	5日		南富良野社会福祉協議会ボランティア来園
	6日		消防立入検査実施
	10～12日	12日間	旭川福祉専門学校生（保育科）実習受入 経専北海道保育専門学校生実習受入
	12～13日	2日間	道内1泊旅行（プロ野球観戦 札幌市）
	13日		普通救命講習
	22日		第3回法人職員交流会 道北福祉協会ソフトボール大会
25日～26日		2日間	道内1泊旅行（小樽方面）
	26日		藤川岳広支援員・藤川加芳子支援員（旧姓：中島）入籍
	27日		交通安全教室
	28日		6月誕生会
	30日		杉山さつき支援員退職
7月	3日		南富良野町社会福祉協議会ボランティア来園
	6日		第39回スポ・レク交流会開催 家族会総会 南富良野高校学校祭パフォーマンス見学
7日～8月29日		54日間	ご利用者・大矢トミ子さん富良野協会病院入院
	8日		ふらの三番館出張販売

月	日	期 間	内 容
7月	9日		日帰り旅行（富良野方面） ブックドクター（読み聞かせ）来園
	15日～27日	13日間	経専北海道保育専門学校実習受入（1名）
	16日		南富良野中学校2年生総合学習
	18日		岐阜町内会ふれあいサロン
	21日		参議院議員選挙投票
	22日～23日	2日間	法人役員研修（江別市・登別市）
	23日		日帰り旅行（帯広方面）
	24日		7月誕生会
	25日		上富良野曹友会演奏会
	28日		かなやま湖湖水祭り参加 北斗プロレス観戦
	29日		長井学園施設見学来園
	30日		道北福祉協会パークゴルフ大会
	30日～8月8日	10日間	女性ご利用者自立訓練実施
8月	7日		南富良野町社会福祉協議会ボランティア来園 商工会七夕祭りボランティア参加 一味園夏祭りボランティア参加
	10日		ふくしあ夏祭りボランティア参加
	10日～17日	8日間	夏季一時帰省（空知・道北方面）
	11日～18日	8日間	夏季一時帰省（町内・道央・道東方面）
	13日		夏季お楽しみ会
	18日		幾寅地区連合町内会ふれあい盆踊りボランティア参加
	19日～25日	7日間	ご利用者・藍原貴宏さん富良野協会病院入院
	19日～22日	3日間	ご利用者・後藤利夫さん富良野協会病院入院
	20日		北落合老人クラブ施設見学来園
	21日		8月誕生会
	22日～23日	2日間	道内旅行（釧路方面）
	26日～31日	6日間	旭川福祉専門学校実習受入（2名）
	26日		合同花火大会
	29日		南富良野町福祉スポーツ大会 阿部翔吾支援員・阿部希望支援員（旧姓：山田）入籍
	29日～10月2日	35日間	ご利用者・水戸綾乃さん北の峰病院入院
	30日		南富良野中学校3年生総合学習
	9月2日～7・8日	6・7日間	旭川福祉専門学校実習受入（2名）
	4日		南富良野社会福祉協議会ボランティア来園
	7日		第37回ふれあいフェスタ開催
	9日～23日	15日間	ご利用者・尾森典子さんくにもと病院入院
	11日		道北福祉協会スポーツ交流会参加
	12日		胃癌検診
	14日		道の駅感謝祭ボランティア参加 法人施設見学会
	16日～17日	2日間	南富良野神社祭見学
	17日		南富良野神社祭婦人会踊り観覧 南富良野神社祭御神輿観覧 南富良野神社祭獅子舞観覧
	22日		あおぞらの会お楽しみ会
	24日		日帰り旅行（富良野方面） 火災避難訓練
	25日		9月誕生会
	26日		日帰り旅行（帯広方面）

月	日	期 間	内 容
9月	30日		日帰り旅行（新得方面） 藤川岳広支援員退職 大上祐輔支援員退職
10月	2日		南富良野社会福祉協議会ボランティア来園
	8日～		男性ご利用者自立訓練実施
	10日～11日	2日間	道内旅行（登別方面）
	11日		第4回理事会
	15日		地域生活移行訓練者調理実習
	15日～19日	5日間	老田和子さん旭川高砂台病院入院
	16日・17日	2日間	町内青空市
	16日		南富良野小学校学芸会公開日観覧 横山舜さん入所
	18日		富良野方面日帰り旅行（にじのまち）
	22日		道北福祉協会施設対抗卓球大会参加
	24日		10月誕生会
	25日～26日	2日間	道北福祉協会すずらの会研修会参加
	26日		からまつ園家族会情報交換会
	26日～28日	3日間	ねむの木学園視察研修
	28日		後期定期健康診断
	28日～11月9日	17日間	旭川福祉専門学校1年生4名実習受入
	31日		富良野方面日帰り旅行（もりのまち） ハロウィンパーティー
11月	1日～12月11日	41日間	藍原貴宏さん北の峯病院入院
	2日		法人施設見学会
	5日～6日	2日間	北海道運営指導監査
	6日		南富良野町社会福祉協議会ボランティア来園
	10日		高松支援員退職
	11日～14日	4日間	道外旅行（沖縄県）
	12日		利用者生活委員会
	12日・14日	2日間	パワハラ・セクハラ研修会
	13日		婦人科健診
	19日		ふらの三番館出張販売
	20日		昼食会 あおぞらの会おんべつ学園視察研修
	22日・25日	2日間	インフルエンザ予防接種
	26日		11月誕生会 北広島福祉会施設見学受入
	31日		道北福祉協会ぴあステージ参加
12月	1日		林崇紘支援員入職 栗野彰朗さん退所
	2日		法人定例監査
	3日		障がい者週間表敬訪問・作品展示
12月	4日		南富良野町社会福祉協議会ボランティア来園
	5日		障がい者週間記念事業映画上映会 障がい者関係事業所合同権利擁護・虐待防止研修会
	7日		南富良野町社会福祉大会
	17日		藤原拓也事務員入職
	19日		クリスマス会
	25日		12月誕生会
	28日～1月5日	8日間	冬季一時帰省（12/28～1/4 道北・空知方面） （12/29～1/5 道央・道東方面）

月	日	期 間	内 容
12月	31日		上原弘美看護師退職 大晦日食事会
1月	1日		初詣 新年交流会
	2日		冬休みお楽しみ会 新年映画鑑賞会
	8日		南富良野町社会福祉協議会ボランティア来園
	15日		成人を祝う会
	16日		利用者生活委員会
	22日		1月誕生会 第5回理事会
	30日～2月7日	9日間	佐々木ゆかり主任支援員 旭川医大入院
2月	3日		南富良野高等学校ボランティア来園 節分
	5日		南富良野町社会福祉協議会ボランティア来園 利用者生活委員会
	11日～16日	6日間	道北福祉協会アート展作品出展
	14日		第16回法人研究発表会
	19日～29日	11日間	拓殖大学北海道短期大学1年生2名実習受入
	26日		2月誕生会
	26日～3月10日	14日間	矢野政一さん富良野協会病院入院
	27日		第6回理事会
3月	3日		桃の節句を祝う会
	5日		利用者生活委員会
	9日～23日	15日間	からまつ園アート展開催
	22日		後藤利夫さん退所
	24日		第7回理事会
	30日		第2回評議員会
	31日		退職者辞令交付

4. 短期入所利用状況

栗野 彰朗さん	5月7日～27日 (21日間)
藍原 通宏さん	8月22日
藍原 通宏さん	12月5日
藍原 通宏さん	12月14日
藍原 通宏さん	1月10日
平野 満さん	2月16日～23日 (8日間)
平野 満さん	3月9日～